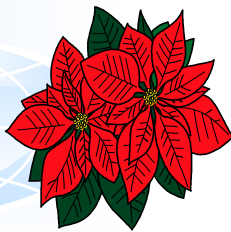


学校だより

麦の穂



令和4年度12月号 11/25発行

富士宮市立富士根南小学校

全校児童 1,025人(+1人)

電話番号 26-2522

ホームページアドレス

<http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/>

e-school/08fujineminami/



学校教育目標

夢をもって、自ら考え 共に学ぶ子

学校経営目標

判断力を高め、笑顔・思いやりあふれる学校づくり

先月の末には、全国の新規感染者数は連日10万人を超え、新型肺炎ウイルス感染症の再拡大(第8波)が現実のものとなりました。静岡県内においては感染力が高いのではないかと心配されるオミクロン株派生型が2種類検出されるなど予断を許さない状況に戻りつつあります。

また、今年度は、インフルエンザも大流行の兆しもあるとの報道もあり、感染対策にこれまで以上に厳に取り組まなければならない状況です。

現在は「レベル2」の対応を継続していますので、子供(本人)又は同居家族に発熱や咳、のどの痛み、倦怠感等の症状がある場合(医師により、新型肺炎ウイルス感染症ではないと判断された場合を除く)は登校を控え、自宅での休養をお願いします。また、保護者の皆様におかれましては、毎朝の検温、健康観察アプリでの報告につきまして引き続き御理解と御協力をお願いします。また、放課後の子供たちの過ごし方についても感染対策に十分留意するよう御指導願います。

■ 問題を自分事として捉え、その解決に向けて自ら行動する力

校長 川口 秀也

先日、6年生は「むぎのほ学習」の時間に、当事者からお話を聴く「セクシャルマイノリティについて考える講演会」を2人の6年生の発案で実施しました。

これは、「だれもが幸せになる社会づくり」(福祉)をテーマに、2人が探究学習を進めるなかで、セクシャルマイノリティの方々が公衆トイレの使用について困りごとが多いことを知り、それを何とか解決したいと取り組んできたことに始まります。

2人はこれまでも、誰もが気兼ねなく使える「みんなのトイレ(多目的トイレ)」を設置したいと募金活動を行ったり、一目で誰もが使えるトイレ(みんなのトイレ)だと分かるステッカーを富士宮ライオンズクラブさんの援助をいただきながら作成したりと、地域の方々に協力をお願いしながら、自分たちのできることは何かを考え、探究学習に取り組んできました。今回の当事者から直接お話を伺う講演会も、まずは、自分たちの仲間に「セクシャルマイノリティの方々が身近にいること」、「日常生活のなかで、生きることも辛くなるほどの多くの困りごとを感じていること」を知ってほしいと企画し、実現したものです。講演会に参加した子供たちからは、「だれもが平等な世界の大切さが分かった。誰もが嫌な思いをせず、自分の歩みたい人生を歩めて、みんなが笑顔で生きられる世界を創りたい。」「あらためて、いじめや差別はいけないと強く思った。これからは、だれにでもやさしく接したい。」などの感想が寄せられ、多様性を尊重することで、マイノリティの人々も含めた誰もが、安心して心豊かに暮らせる社会づくりに参画したいとの思いを広げることができたようです。

これからの子供たちは、加速度的に変化する社会のなかで、主体的に判断することや問いを自ら立て解決すること、そして周りとの協働しながら新たな価値を生み出すことが求められます。学年全体を巻き込んだ今回の2人の6年生の探究学習は、正にこれからの時代を生き抜く子供たちが身に付けるべき力を体現したものだと言えます。

この2人の他にも、「ごみ拾いから、マイクロプラスチック問題を解決したい」「古紙回収で森林を守りたい」など探究学習に取り組んでいる子供たちもいます。これからも学校は「現実の社会との関わり」のなかで毎日の生活を築き上げていく場「未来の社会に向けた準備段階の場」であるように心掛けると共に、「子供の学び」や「教育活動」を校内で完結せず、社会と連携することで子供たちが自らの人生を切り拓くために求められる富士根南小11の資質・能力(※1)を育むことに取り組んで参ります。

※1 富士根南小11の資質・能力は学校HPでご確認ください。

